



広報

はほろ

4

APR | 2008

No.538

▶ contents.

平成20年度町政執行方針 ②

子ども自然教室 (9) ⑩

地産地消レシピ | カレイのおろし煮 ⑬

情報プラザ | 軽自動車税の減免について ⑱



平成20年度 町政執行方針

羽幌町長 舟橋 泰博

〈はじめに〉

私は、町長就任以来、3期10年目を迎えます。この間「心と心をつなぐ活力あるはほろ」を目標に、町民の目線での行政を考え、町民協働のなかでのまちづくりに一貫して取り組んでまいりました。

自治体を取り巻く環境はさらに厳しさを増しており、小規模な町村にとつて今まで経験をしたことのない状況にあります。これまで先人が築き上げてきた町の基盤を継承し、希望の持てる元気な未来づくりのた

め、町議会、町民のみなさまのご支援、ご協力を頂き、力を尽くして取り組んでまいります。

日本経済は、景気の回復が見込まれるとはいえ、国際金融市場の混乱から株価は低迷をつづけ、さらには原油価格の高騰から各種産業に影響を与え、物価は上昇するが収入が伸びないなど、先行きが不透明な状況が続く国民の生活に不安を与えている状況にあります。

また、地方公共団体におきましては、「地方自治体の財政の健全化に関する法律」が制定されたことにより、や生きものと共存する意識の普及啓発を進めるため、館内展示だけではなく、ジュニアレンジャーや中学生・高校生のエコクラブなどの活動を通して住民参加の裾野を大きく広げてきております。

また、ビオトープ公園など子どもからお年寄までが自然と親しむことのできる環境づくりを行っている町民団体「羽幌みんなで作る自然空間協議会」の活躍には目を見張るものがあり、小中学生や高校生、一般町民が一緒に汗を流している姿に大きな期待をしております。

子どもたちが自然と触れ合うことのできる機会を増やすための努力、国定公園天売焼尻の自然を再認識できる事業などを行ない、日本で唯一の海鳥専門施設として独自性を発揮し、自然保護思想の普及啓発活動の拠点施設として、関係団体等と連携し運営してまいります。

〈都市計画〉

都市計画マスタープランは、町民のみなさまが安全で快適な生活を送れるよう、長期展望にたった羽幌町の将来像やまちづくりの方向性を明

「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の4つの指標を視野にいれた、財政運営を行わなければなりません。

この様な状況の中で、行政を執行していくこととなりますが、この荒波を乗り越えるためには、さらなる町民協働が必要と考えております。

昨年、より町民と行政の距離を近づけ、「心と心のふれあつまちづくり」を進めていくため、「羽幌町地域情報連絡員制度」を制定し、「自立と共生のまちづくり町民提案制度」を創設しました。

また、行政運営の取組みにつきましても、特別養護老人ホーム、いきいき交流センター（サンセットプラザホテル）は指定管理者制度に、上下水道施設運転管理業務、スクールバス及び福祉バス運行業務、除排雪業務等につきましては、業務委託を行ってまいりました。

さらに本年度は、総合体育館、焼尻めん羊牧場の指定管理者制度による業務を実施する運びとしておりま

らかにし、土地利用などの将来目標を定めることを目的としております。羽幌町都市計画マスタープランは、「ほつとプラン21」の都市計画分野の基本方針として、北海道が定めた「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」に基づき、計画的な土地利用を促し、港湾をはじめとする都市施設の配置や景観づくりの在り方など、町民や事業者と行政が、協働でまちづくりに取り組むため、長期にわた

り先導する誘導指針として策定するものであります。

〈高齢者福祉〉

本町も少子高齢化が進み、65歳以上の人口は32.8%となり、高齢者の時代を迎えておりますが、本年が最終年となります第3期「老人保健福祉計画及び介護保険事業計画」の理念のもと、民生委員、町内会、ボランティアなど、地域住民のご協力とご支援を頂きながら、高齢者のみなさまの自立と社会参加の支えとなる、生活支援事業や生きがい対策事業を

す。今後も移行できる業務につきましては民間に委ねる等、行政の入り込みを図ってまいります。

小規模自治体として自立の道を歩むにあたり、一次産業の充実が産業基盤を確立していく上で重要と考え、財政の健全化を念頭におきつつ、私の念願であります「元気なまちづくり」「暮らしやすいまちづくり」「安心安全なまちづくり」のため、町政を進めてまいります。

私は、羽幌町総合振興計画「ほつとプラン21」をまちの将来像の基本理念として位置づけ、3期目の町政を担うにあたりお約束しました「8つの目標と63の約束」を確実に実行し、自立に向けたまちづくりを議会、町民のご理解、ご協力を得ながら町政執行に取り組んでまいります。

地域の自然が育む豊かなまち

〈自然環境〉

今年7月には、「北海道洞爺湖サ

今後も内容の充実を図りながら継続的に進めるとともに、老人クラブや高齢者事業団を始めとする高齢者の自主的な活動を支援してまいります。

特別養護老人ホーム「しあわせ荘」の管理運営は、指定管理者である社会福祉協議会との連携を深め、引き続き民間事業者の活力や資源を生かし、質の良いサービスの提供と施設の効果的活用を図ってまいります。

施設の老朽化に伴う建替については、議会文教厚生常任委員会でご意見を伺い、本年度中には「基本設計」並びに「実施設計」を終えたいと考えております。

介護保険事業では、「地域包括支援センター」を核として、介護予防サービス事業を始め、介護・医療・福祉のサービスを総合的に提供するとともに、要介護認定者や介護サービス



ミット」が開催されることから、地球温暖化に対する感心が高くなっております。私たちのふるさと「はほろ」の自然環境は、暑寒別天売焼尻国定公園の天売島・焼尻島を擁し、本土も海・山・川と雄大な自然環境に恵まれており、農山・漁村を核に多くの人々に恩恵をもたらし、町民にやすらぎを与え有効的に活用されています。このかけがえのない地域資源を今後とも最大限に活かし、豊かな自然環境と共存していくため、自然のしくみを再認識し、「環境に配慮したまちづくり」を進めていきます。

平成18年に制定した「羽幌町環境保全条例」、「羽幌町の環境を守る基本計画」の趣旨が広く町民のみなさまにご理解いただけるよう、引き続き普及啓発に努めてまいります。

「はほろライフ計画」を町民へ普及し実践する町民組織「羽幌環境会議」が「プリンせっけん」の普及、「まちあかり運動」などの活動を行っております。これら町民自らが考え、自ら行動するといったことを積極的に支援し、環境を考える住民意識の醸成と条例・基本計画の普及啓発に取り組んでまいります。

北海道海鳥センターは豊かな自然

利用者に最適なサービスを提供するため、居宅介護支援事業者との連携を深め利用者のニーズに対応した適正なケアプランづくりに努めてまいります。

〈保健事業〉

保健予防活動の果たす役割は、町民のみならずが心身ともに健康で生涯にわたる自立と社会参加を可能とし、「健康寿命」を伸ばすための環境を整備することにあります。

特に、肥満、糖尿病、高血圧症などを要因とする生活習慣病は、日常生活の改善が最も基本的な予防対策であり、本年度から40歳～74歳を対象にメタボリックシンドロームに着目した「特定健診・保健指導」が始まりますが、「はほろ特定健康診査等実施計画」に基づき住民健診等における受診率の向上や、生活習慣の改善と予防に向けた取り組みを進めてまいります。

発達障がいを持つ子どもが増加傾

入を利用し、選択の幅を広げることによって自立と社会参加が進むよう積極的な支援をまいります。

〈児童福祉〉

少子化の進行は、次代を担う子どもたちが、健やかに生まれ育つ環境にも大きな影響を与えておりますが、「はほろ次世代育成支援行動計画」の基本理念のもと、子どもたちの健全な成長と、子育て支援に視点を置いた取り組みを進めてまいります。育児相談や育児教室に対する関心と期待が高いことから、今後「毎くらぶ」や「子育て支援センター」等の充実を図り、育児不安や悩みの解消など、若い親に対する子育て支援を進めるとともに、「子育てサークル等」の自主的活動を奨励してまいります。



向にありますが、乳児健診等を通して早期発見と、「子ども発達支援センター」を核として子どもの早期療育、家族への支援、幼稚園・学校等関係機関との連携など、子ども達の健全な発達に向けた環境づくりに努めるとともに、発達障

がいに対する地域住民の理解を深めてまいります。健康は町の財産であり、「だれもが健康で暮らすことのできるまちづくり」に向け、計画的・継続的な事業の実施と評価を進めるとともに、本年度設置する「すこやかロード（はほろ散歩道）」を活用した町民の自主的な健康づくり活動への支援や啓発などを進めてまいります。

〈地域医療〉

道立羽幌病院は、産婦人科の分娩中止や、小児科、整形外科が派遣医師による診療体制となるなど、地域



平成20年度町政執行方針

住民に大きな不安を与えております。特に、離島地区の妊婦さんは、島外での健診や出産に宿泊等が伴い大きな負担となっていることから、費用の一部助成を行ってまいります。また、道立羽幌病院が妊婦さんの負担軽減を目的に実施する、助産師による妊婦健診「ミルキー外来」の活用を周知し、受診率の向上と健康保持を図ってまいります。

12月に示された「北海道病

院事業改革プラン（素案）」では、羽幌病院は引き続き二次医療を担う地域センター病院として位置づけられたものの、指定管理者制度の導入などを視野に入れた経営形態の見直しを図るとしております。

地域医療に対する町民の不安を少しでも解消するため、引き続き医師確保や医療機能の充実強化、さらには救急医療の切り札であるドクターヘリの道北圏域への配備に向けて、「議会医療調査研究特別委員会」と連携しながら関係機関に強く要請してまいります。

〈障がい者福祉〉

「はほろ障害者福祉計画」の基本理念であります。「障がいのある人もない人も共に生き生きと生活できるまちづくり」を念頭として、地域住民や関係機関、団体等の理解と協力を得ながら、障がいを持つ人が身近なところで障がい福祉サービスや地域生活支援事業など公平で適切なサービ

によってその方法を選びながら各分野、各世代の声を聴き、まちづくりに反映させてまいります。

〈人づくり事業〉

この事業は、地域づくりのリーダーとして資質を備えることのできる人づくり、国際化社会における豊かな感性と幅広い視野を備えた人づくり、地域の活性化に關連する人づくりなどの事業を行う個人、団体に対し費用の一部を助成するものであります。

「まちづくり」は「人づくり」であるとの基本理念のもとに今後とも人づくり事業を積極的に支援してまいります。

安心して魅力的な田舎暮らしができるまち

〈農林業の振興〉

農業、農村を取り巻く環境は依然として厳しく、農家戸数の減少、後継者の不足、就農者の高齢化が進み加えて農畜産物の価格低迷など、生産構造の脆弱化や活力低下が懸念さ

国民健康保険事業は、年金受給者の増加や長引く不況の影響で加入者全体の所得が低下し、それに見合った課税総額の減少など厳しい状況にあります。一方、保険給付については、国保

「子ども・子育てにやさしい羽幌町」の実現を目指してまいります。地域社会全体がそれぞれの役割を担い、相互協力と情報の共有が大切であることから、児童に携わる福祉教育関係機関等の連携を一層深め

児童虐待など、子どもを取り巻く様々な問題が発生しておりますが、虐待防止と早期発見、迅速での確な対応を図るため、広く児童に係わる関係機関・団体等による「要保護児童対策地域協議会」を設置し、児童相談所など専門機関との綿密な連携により必要な措置を講じてまいります。

保育所の改築については、「児童福祉施設検討委員会」で協議を進めておりますが、早期に方向をまとめ、議会文教厚生常任委員会でご意見を伺ってまいりたいと考えております。子どもたちの健やかな成長には、

〈国民健康保険事業〉

国民健康保険事業は、年金受給者の増加や長引く不況の影響で加入者全体の所得が低下し、それに見合った課税総額の減少など厳しい状況にあります。

れ、深刻な状況となっております。

国では、平成19年度から地域農業への支援政策として、担い手をはじめ、法人や集落営農に対し、米の生産調整、所得安定対策、地域資源保全対策をスタートさせ、農業全体の経営所得の安定と食料自給率の向上に取り組んでいるところであります。「水田農業構造改革事業」や「中山間地域等直接支払事業」といった国の補助事業も継続して取り組んでいるほか、「元気な地域づくり交付金事業」により米穀乾燥調製貯蔵施設も完成し、本町の米の産地形成や稲作農家の経営維持・発展に繋がる大きな期待を寄せているところであります。

平成17年度より新たな特産品として試験栽培を進めている「ヒルベリ」につきましては、農業試験所ほ場での試験栽培を引き続き行っております。

林業の振興につきましては、地球温暖化や世界各地で異常気象による

災害被害発生などにより人間

生活を取り巻く環境の重要性中でも森林の役割について注目されているところであります。自然林の保護はもとより人工林の整備については、健全な環境の形成に不可欠なものです。

町有林につきましては、計画的に除間伐等を行い適正な維持管理と整備を進め、民有林につきましても森林整備地域活動交付金などの補助制度に加え、町独自の助成をしながら地域森林の振興に努めてまいります。

羽幌二股ダム、羽幌ダムなど農業水利施設につきましては、建設から年数を経て老朽化による改修等が必要な箇所が見受けられます。国、道との連携を図り、適切な管理を行い、地域農業の生産性の安定と向上に資するよう対策を進めてまいります。

畜産振興につきましては、畜産担

また、引き続き離島漁業再生支援交付金を利用する中で、両島においてエゾバフンウニの種苗放流やキタムラサキウニの移植放流、漁場管理などを行い離島の活性化を図っております。

北るもい漁業協同組合の生産基盤強化につきましては、19年度に拠点として整備された苫前の水産鮮度保持施設をより有効に活用するため、羽幌の衛生管理や効率化に配慮した貯氷施設の改築、冷蔵施設の新設に対し支援を行ってまいります。

今後とも、漁業経営の安定と限りある水産資源を持続的に供給できるように、地域に根ざした水産業の振興対策に努めてまいります。

〈商工業の振興〉

国内の景気が緩やかに拡大しているなか、北海道においては依然として厳しい経済情勢が続いており、中小企業の倒産が増えるなど、地域間・企業間格差が拡大し、未だ個人消費の回復基調に至っていない状況にあります。

本町の商工業を取り巻く環境も依然として厳しく、不本意ながら経営

破綻が生じた企業、あるいは事業の

継続発展のため経営改善に取り組む事業者などにも課題が多くあるなかで、経営基盤強化のための自助努力を促すため、商工会など関係機関と密接な連携を図りながら商工業の振興に努めてまいります。

中心市街地の活性化について、空き地・空き店舗等を有効活用した取り組みは商業者の新たな投資も困難を極め、幾多の課題を抱えております。今後、元気のある街の賑わいを形成するために、関係機関と連携を図り、課題解決に向け努力してまいります。

今年、北海道洞爺湖サミットを契機とした国の観光戦略として、北海道が日本のモデル観光圏に位置づけられております。

主要テーマは環境問題で、羽幌町には100万羽の海鳥が繁殖に訪れる「海鳥の楽園」天売島、5万本のオノコの原生林と手つかずの森がある「花と緑の島」焼尻島のいずれ

平成20年度町政執行方針

い手育成総合整備事業による草地改良、造成事業の推進により、安全で高品質な牛乳の安定的生産体制の確立を目指すとともに、酪農ヘルパーの活用への助成などゆとりある酪農経営に向けた対策を推進してまいります。

焼尻めん羊牧場は、効率的な管理運営を行うため平成20年度より民間事業者のノウハウを活用した指定管理者制度を導入し、焼尻めん羊のブランド化の定着と副産物等の付加価値を高め、地域振興と財政負担の軽減を図ってまいります。

〈水産業の振興〉

新たな時代に対応した漁業協同組合のあり方として、広域の北るもい漁業協同組合が誕生して4年を経過しましたが、この間、着実に計画を達成し、目的に沿った組織基盤強化が図られてきたところであります。

も、世界的に自然環境をアピールする絶好の機会と期待を寄せているところであります。

両島の自然を満喫しマイペースでサイクリングを楽しむ自転車走行会「ツール・ド・天売&焼尻アイランド」を今年5月と8月に実施し、島のスローライフを実感していただきます。6月下旬には2万5千トンの大型豪華客船「ふじ丸」の天売島寄港も決定し、今後の観光資源としての経済効果に期待しております。

さらには、町内の主要な観光施設の整備を実施し、観光客や利用者の利便性を高め地域の活性化を図って

しかしながら個々の漁家経営は依然として旧態を脱するには至っておらず、魚種や地域によって明暗が分かれ、魚価安や燃油・資材の高騰資源の減少による影響を受け厳しい情勢が続いております。

そのため漁業経営の安定と水産資源の持続的な供給を目的とする栽培漁業の取り組みは重要な課題であり、本年度も管内栽培漁業推進協議会を母体とするヒラメ、ニシンの種苗放流事業に積極的に協力し、資源の維持増大に努めてまいります。



まいります。

知名度のあるサンセットサマライプや「日本海えびタコ街道協議会」のご当地グルメ開発などにより地域の活性化を図るとともに、知恵と努力を結集して地域の観光を育ててまいります。

〈労働対策〉

雇用を取り巻く環境は、全国的には改善する一方で、依然として厳しい雇用情勢が続いている地域が存在し、地域格差が生じております。道内の完全失業率は、昨年12月で前年より0.4ポイント改善の5.0%となっておりますが、全国平均と比べ高く推移しており、依然として厳しい状況であります。

そのよつな中、季節労働者対策として平成19年10月より国から事業委託を受け実施している「通年雇用促進支援事業」につきましては、苫前町から天塩町までの5町村の経済団体や労働団体等で構成される「オロクン留萌中部・北部通年雇用促進協議会」を設立し、季節労働者に対する通年雇用化に向けた意識啓発や技術の習得により、多くの季節労働者の通



年雇用化が促進されるよう今後も継続してまいります。

〈町営住宅〉

本町における少子高齢化が進行する中で高齢者世帯の増加が予想され、公営住宅へのニーズも多様化するなど、公営住宅の果たす役割はますます大きくなってまいります。

これらの具体的な施策といたしまして、老朽化した大規模団地の効率的・効果的な建替事業の推進や民間住宅の整備促進を図ってまいります。20年度も朝日団地に移転住宅、木造平屋建て3棟6戸を建設し、併せて離島地区1棟2戸の建替整備を進めてまいります。一方、老朽住宅では南2条1丁目の簡易2階建て2棟8戸の解体を行うほか、既存住宅の維持補修などを実施してまいります。

また、公営住宅跡地などを活用した住宅・宅地の整備を進め、民間活力の活用や自然にやさしい地域バランスを考慮した住環境の整備と保全に

努めてまいります。

〈港湾整備〉

港湾は本町の振興・発展を図る上で重要な施設であるほか、羽幌・天売・焼尻を結ぶ玄関口として貴重な役割を果たしており、将来の有効利用に向けた整備と、適切な維持管理に取り組んでいく必要があります。

羽幌港においては、耐震岸壁の早期供用を図るため、岸壁とその背後用地の整備を継続するとともに、港内静穏度を確保するため、北防波堤の整備を継続してまいります。また、緑地整備につきましても、20年度で基本施設・付属施設の整備を行い、事業を完了する予定となっております。

天売港においては、越波防止のため北防波堤の改良を継続して行ってまいります。

今後も港湾利用者の意見を聞きな

平成20年度町政執行方針

から議会並びに港湾審議会での審議をいただき、必要性和効果を考慮した港湾整備を進めてまいります。

〈町内循環バス〉

町内循環バス「ほっと言」は平成15年に、主に医療機関への通院や健康増進のために、はほろ温泉サンセットプラザを利用するお年寄りなどの交通の足としてスタートしたものであります。

費用対効果の面から効率的な事業運営を図らなければなりません。住民のみなさまに利用しやすい循環



バスを目指して、運行時間や経路の変更を行うほか、「フリー乗降」の開始や「サンタほっと言」の無料運行を実施し、さらには定期券を販売するなどの改善を図り、平成19年5月からは「メロディーバス」として運行しているところであります。

利用者につきましては年々増加しておりますが、試験的に「レット口バス」を走らせるなど新たな取り組みをし、さらなる利用者増に努めているところであります。今後も利用者ニーズを的確に捉え、地域の足として定着するよう努めてまいります。

〈水道事業〉

水道は、快適な暮らしを支えるライフラインとして、重要な使命を担っております。

水道事業では、平成19年8月より上下水道施設運転管理の「一体化」による民間委託を導入したところであり、今後も業務の効率化、コスト削減による経営の健全化を図ると共

に水道水の安全安定供給に重点をおき水道事業を運営してまいります。

簡易水道事業においても、安全で安定した水道水を供給するため、各施設の維持管理を徹底し、経営の効率化に努めてまいります。

〈下水道事業〉

平成19年12月末の認可計画面積における進捗率は82%に達しており、また、水洗化率は44%となっております。平成20年度につきましても、昨年度に引き続き緑町及び北町地区を中心に汚水管の整備を実施するとともに、雨水管の整備につきましても、市街中心部において一部実施いたします。

今後も、快適な生活環境の提供と環境保全に寄与する下水道の整備を計画的に推進するとともに、水洗化率向上に向けたPR活動を積極的に行ってまいります。

〈ごみ処理〉

本町の資源循環型ごみ処理は、町民みなさまのご理解、ご協力により分別収集も順調に行われております。



容器リサイクル等の資源ごみは、分別の成果により着実に再資源化が図られ、生ごみ堆肥は、町民の皆様へ還元され大変喜ばれております。本年7月に開催される北海道洞爺湖サミットの成功に向けて、「北海道洞爺湖サミット・おもてなしクリーンアップ運動」として、全道的に清掃活動や普及啓発活動が展開されます。本町においても、地域ぐるみで行われております清掃活動「羽幌町・海とまちイメージ作戦」を当該運動の一環として参加してまいります。

〈防災対策〉

平成16年9月に本町観測史上最大

の瞬間風速46・9メートルを記録した「台風18号」や、12月に町内では過去最大の震度5弱の「地震」が発生し、多くの被害を受けたことは記憶に新しく、日頃の備えの重要性をあらためて認識したところであります。

比較的災害の少ない本町でありませんが、歴史的に見ましても時折大きな災害に見舞われて来ましたが、それらを教訓としていざという時に備え町内会、消防団及び警察署の協力を得ながら、一部地域毎ではあります。が毎年度「住民避難訓練」を実施してまいりました。本年も市街地域の4年目として行う計画としております。こと、念願であります全町挙げ

〈むすび〉

現在の「自立と共生のまちづくり計画」に基づき行政を実施しているところであります。取り巻く環境は厳しい状況にあると先に述べましたが、老朽化している公共施設は改築を余儀なくされており、策定した財政推計に即し、事業を実施していかねばなりません。職員と子ども創意工夫を図り、努力をしております。

が、公共サービスの水準を維持するためには、町民みなさまの協力が不可欠であります。誰もが「住んでいてよかった」「住みたくなるまち」を目指し、町民協働のまちづくりに一層の努力をしてまいります。

(平成20年3月11日第2回羽幌町議会定例会抜粋)



その9

活動データ 第10回

メニュー：アイスクリームづくり
思い出日記づくり

日程：3月15日 土曜日

場所：中央公民館

参加：32人(4年生～6年生)



手づくりアイスに挑戦

第10回目となった平成19年度最後の教室は、アイスクリームづくりに挑戦しました。

材料は牛乳、生クリーム、砂糖、バニラエッセンス、使う道具はペットボトル(500cc)、食塩、ビニール袋です。たったこれだけで火や電気は一切使いません。本当においしいアイスが作れるのか、出来上がりが心配です。

子どもたちは4人ずつのグループに分かれてさっそく調理開始。

はじめに牛乳と砂糖をペットボトルに入れ、砂糖が溶けるまでよく振りまです。次に生クリームとバニラエッセ

スを加え、さらによく振ります。これで調理は終了です。普段はあまり料理のする機会のない子どもたちも、これだけの作業でアイスが作れるのかとビックリです。ますます出来上がりが心配になってきました。

つづいて場所を外に移し、ペットボトルを冷やします。方法は食塩を混ぜた雪でペットボトルを覆い、ビニール袋に入れてボール状に密封します。あとは中身がよく振らさるよう、ひたすら転がします。子どもたちにとってこの作業はお手もの。雪山から転がしたり、サッカーをしたり、いろいろな方法で約20分転がし続け作業完了です。グループごとにペットボトルを開けてみると、真っ白なバナナアイスの

完成です。味はもちろん、あまくて美味しかったですよ。

1年間の思い出を日記に

アイスづくりの後は、この1年間の活動の思い出を日記にまとめました。

サイクリングから始まったこの教室は、ダムの見学や焼尻でのキャンプなどメニューも様々で、時には小平町でのマリンスポーツ体験など、町外へ飛び出しているメニューもありました。

子どもたちはそれぞれ印象に残ったメニューの出来事を思い返し、感想を用意された記録写真を交えながら日記に書き込んでいました。

中には、自分が参加したメニューをランキングし、その一つひとつにコメントを加えている日記もあり、人気があったメニューとしては焼尻のキャンプや朱鞠内湖でのワカサギ釣りが上位を占めていました。

最後には修了式も行われ、1年間指導にあたった先生から参加者全員に修了証書が贈られ、平成19年度の教室は終了しました。

完成した「思い出日記」は4月末まで公民館1階ロビーに展示していますので、ぜひご覧ください。

おいしいアイスを目指して、分量計算も真剣。量を間違えると大変です。



(右)1年間の思い出日記づくり。各教室の写真を広げ、コメントと一緒に書き込みます。
(中)元気にそして楽しく教室に参加した証として、全員に修了証書が贈られました。
(左)完成したアイスクリーム。見た目も味も完璧です。



自然教室メモ

水(雪)に塩でなぜ冷える

化学的な難しい話は省略しますが、ポイントはいふたつ。

まず、塩水は真水に比べて凍結温度(凝固点)が約マイナス20度と低いため、それより高い温度の水に塩を加えると塩水の凝固点に達していないため、液体に戻ろうとし、氷は融けていきます。

次に、氷に熱を加えると融けて水になりますが、これは言い換えれば、氷が融けるときには、周りの熱を奪うということです。

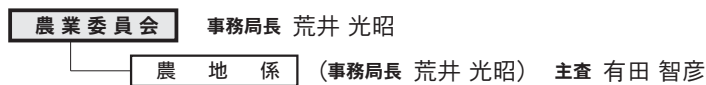
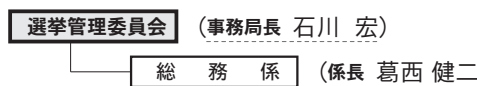
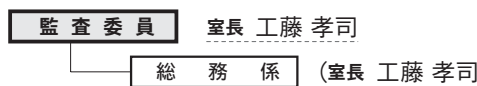
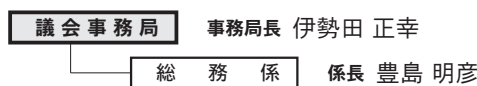
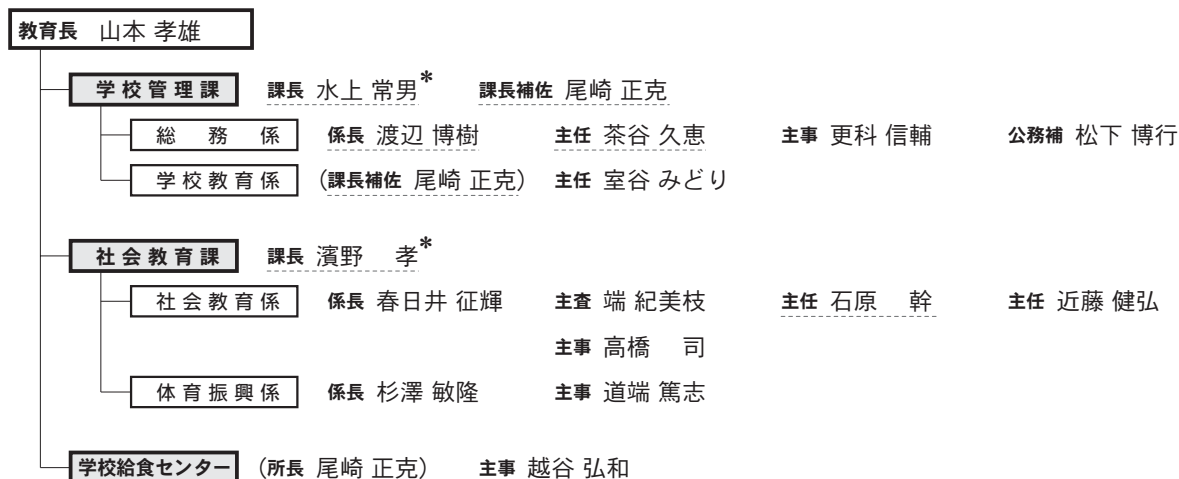
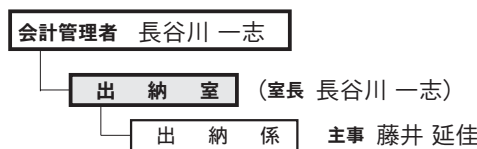
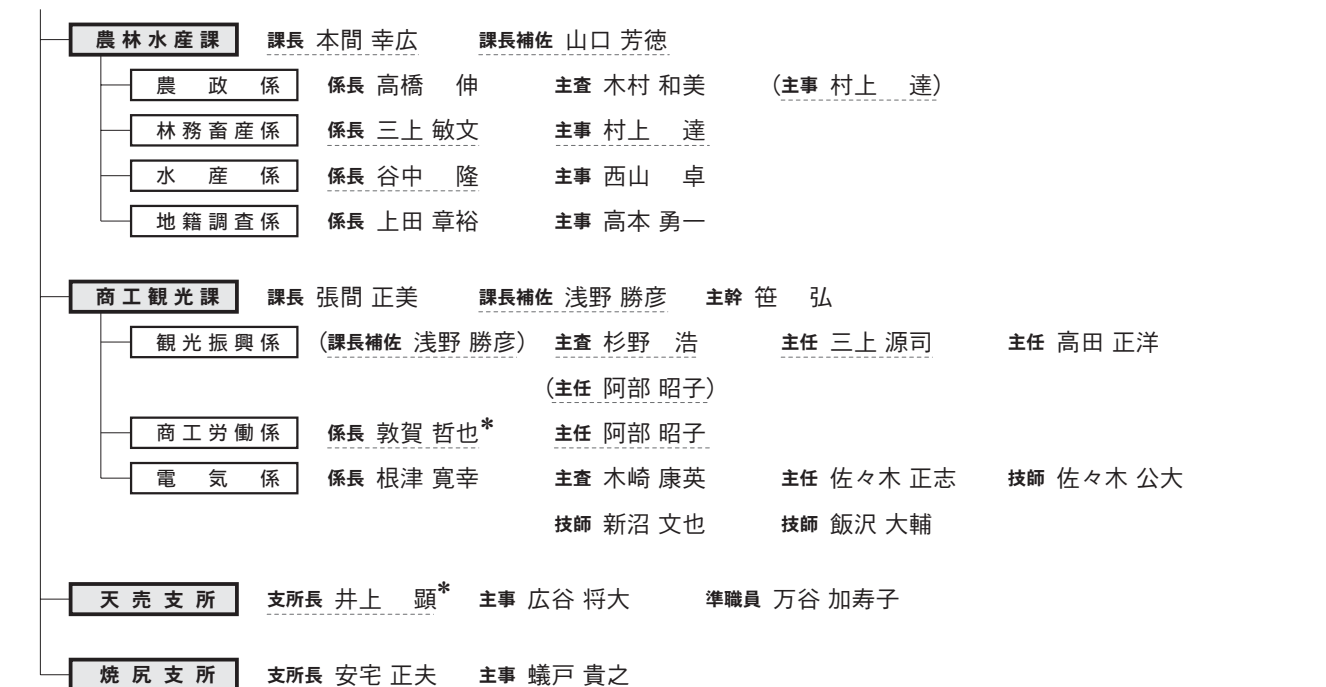
このことから、雪に塩を加えて強制的に融かすことで熱を奪う性質を高め、アイスクリームづくりの冷却効果に利用したのです。



ひと昔前は冬になると凍結防止のため、玄関戸のレールによく塩をまきました。生活の知恵ですね。

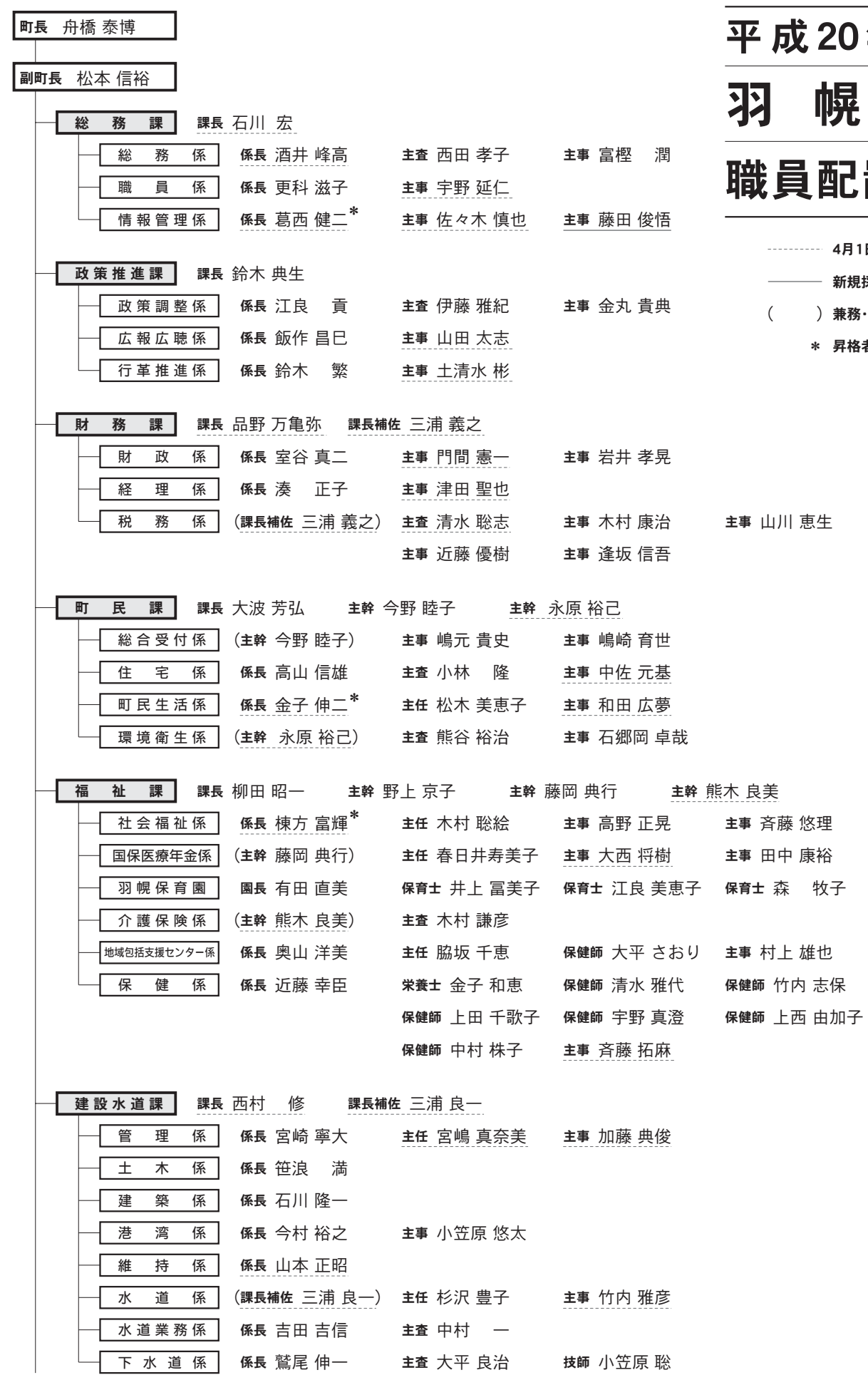
平成20年度 羽幌町 職員配置表

----- 4月1日異動者
 —— 新規採用者
 () 兼務・併任発令
 * 昇格者



機構改正
 農林水産課林務耕地係 ▶ 農林水産課林務畜産係に改称
 農林水産課めん羊事業係 ▶ 農林水産課林務畜産係に統合
 建設水道課建設車両係 ▶ 建設水道課維持係に改称

退職者(平成20年3月付)
 平山 光彦 (建設水道課長)
 田中 重秋 (町民課町民生活係長)
 大井 公世 (農林水産課めん羊事業係)
 松金 道弘 (総務課付)



まちの出来事

from.
photoclip

3月 | March

1 羽幌保育園の卒園式が行われました。卒園児12名一人ひとりに園長先生から卒園証書が手渡され、両手でしっかりと受け取った卒園児は保護者席の方へ向き直り、大きな声で将来になりたい職業を発表しました。(3/22)

2 今年の羽幌町優良青少年顕彰には、スポーツや芸術の分野で優れた成績を残しボランティアなどで活躍した4名と4団体が選ばれました。中央公民館で顕彰式が開かれ、保護者やお世話になった方が見守る中、舟橋町長からそれぞれ表彰を受けました。(3/3)

3 羽幌小学校卒業式が行われ、6年間の学校生活で頼もしく成長した67名が巣立ちました。保護者や来賓、在校生が見守る中、真新しい制服に身を包んだ卒業生は、一人ひとり初山校長から卒業証書を受け取りました。(3/19)

4 日本海えびタコ餃子研究会による、ご当地グルメ2008年版の開発が始まりました。(3/21)

5 4月1日から総合体育館の管理・運営を行うNPO法人羽幌町体育協会と羽幌町の間で、指定管理に関する協定書が交わされました。(3/31)

6 NHK旭川放送局がスタジオを飛び出してお届けするここがスタジオ「ココスタ！」が、羽幌にやってきました。おなじみの「どーもくん」も登場。子供から大人まで大勢の人たちに囲まれていました。(3/7)

まちの出来事はホームページの「フォトクリップ」コーナーでもご紹介しています。



1



2



3



6



4



5

地産地消レシピ ⑫ 「カレイのおろし煮」



[塩分 1.7 g / エネルギー 103 kcal]

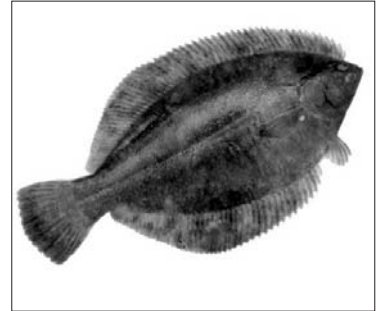
【材料：2人分】

カレイ	2切れ(200g)
大根	120g
だし	180ml
砂糖	小さじ1~2
しょうゆ	大さじ1
塩	ひとつまみ
しょうが	適量
小ネギ	少量

【作り方】

- 1 だし、砂糖、しょうゆ、塩を鍋に入れて煮立て、カレイを入れて約10分煮る。
- 2 大根をすりおろし、水気を軽く絞る。
- 3 しょうがもすりおろし、小ネギは小口切りにする。
- 4 カレイを盛り付け、煮汁に大根おろしを加え一煮立ちさせる。
- 5 カレイに煮汁をかけ、しょうが汁をかける。
- 6 おろししょうがをのせ、ネギを散らす。

今月の素材



カレイ

今 回の料理はカレイのおろし煮です。普通の煮付けに大根おろしを加えるだけなので、とっても簡単です。塩分控えめですが、しょうが汁を加えることでおいしくなります。

レシピの中で「大根をおろして水気を軽く絞る」とありますが、みなさんは大根をおろしたときにでる汁はどうしていますか？

料理教室で参加者のみなさんに聞くと「もったいないから飲む」という人が多いようです。たしかに、捨ててしまうのはもったいない気がします。料理教室では大根おろしの絞り汁は味噌汁のだし汁に加えています。加熱するのでそのまま飲むよりはビタミンなどは減ってしまいますが、ほんのり大根の味が味噌汁になります。

すでに各町内会にお知らせしていますが、4~6月に市街地区の町内会婦人部を対象とした栄養教室を開催します。婦人部で話し合いの上、希望する場合はすこやか健康センター栄養士までお申込みください。

料理監修・文 = 金子 和恵(栄養士)

このほかのレシピは羽幌町ホームページにも掲載しています <http://www.town.haboro.hokkaido.jp/>

今月の新刊 | books.

中央公民館図書室の新刊の一部を紹介しています。蔵書は羽幌町ホームページで検索することができます。図書室はどなたでも自由にご利用いただけます。初めての方もぜひ、ご来室ください。



一般書

おひとりさまの老後

上野 千鶴子 著

歴史を記録する

吉村 昭 著

東に名臣あり

中村 彰彦 著

リリーの箒

豊島 ミホ 著

アンダーリポート

佐藤 正午 著

三世相

松井 今朝子 著

許さざる者

笹本 稜平 著

財布のつぶやき

群 ようこ 著

研ぎ師太吉

山本 一力 著

群狼の舞

船戸 与一 著



5年3組リョウタ組

石田 衣良 著

大人の自覚はあるけれど、ふと気がつけば子どもと同じ目線。25歳。茶髪イマドキ熱血系。希望の丘小学校5年3組の担任教師、リョウタ先生の奮闘を描いた、泣けるほどリアルでしびれるほどみずみずしい教育&青春小説。



阪急電車

有川 浩 著

宝塚駅。征志、運命の女性に会う。宝塚南口駅。翔子、呪いの願をかける。逆瀬川駅。時江、犬を飼おうと思う。恋の始まり、別れの兆し、そして途中下車。電車は人数分の人生を乗せて、どこまでもは続かない線路を走っていく。



すぐできる通園通学バッグ&こもの

内藤 朗 編著

通園セットやランチセット、お稽古バッグなど、保育園・幼稚園、小学校1年~6年まで使えるアイテムの作り方をプロセス写真つきで分かりやすく解説。アップリケの図案なども収録。

児童書

いわしぐもをつかまえる

市居 みか 著

まじよのぼうし

さとう めぐみ 著

マリと子犬の物語

ひろはた えりこ 著

メイシーちゃんのおさんぽ

ルーシー・カズンズ 著

The manzai 4

あさの あつこ 著

すみれちゃんは一年生

石井 睦美 著

ねこのおんがえし

中川 李枝子 著

海賊黒ひげをやっつけろ

ジョン・シェスカ 著

奇怪変身おめん屋

越水 利江子 著

2年3組ワハハぐみ

薫 くみこ 著



野菜づくり大図鑑

藤田 智 編著

定番野菜からハーブ、地方野菜まで128種類を6つの分野に分け、それぞれの野菜に適した栽培法と料理レシピを収録。ベランダでもできるコンテナ栽培、栽培計画や土づくり、マルチングなどの基礎知識も解説する。

あざらしおはなし会 5月10日(土) 午後2:00から

図書室で本の読み聞かせをしています。
だれでも参加できます。おともだちと来てね。



新年度になってから半月が過ぎました。新一年生や新社会人のみなさん、もう学校や職場には慣れましたか？新しい環境では覚えることもたくさんあって大変ですが、人の名前もそのひとつ。人の顔や名前を覚えるにはたくさん会話するのがいいそうです。学校や職場でのコミュニケーションを増やすことで、勉強や仕事の効率も上がるそうです。

☎ 0164-62-1211(代表)

🌐 <http://www.town.haboro.hokkaido.jp/>

✉ seisaku@town.haboro.hokkaido.jp

お知らせ



きれいな町づくりにご協力を

雪解けで道路や自宅周辺のごみが目立つ時期となりました。きれいな町づくりのため地域のみなさんでごみ拾いのご協力をお願いします。また、雪解けなどの地盤のゆるみでごみステーションが傾いていませんか？ごみステーションの管理は各町内会にお願いしています。強風などで倒れることのないよう今一度点検をお願いします。

- 自宅周辺のごみを拾うなど、身の回りからきれいにしましょう。
- 町内会や各団体、ボランティアのみなさんのご協力をお願いします。町内会の地域清掃活動へのごみ袋配布は、後日町内会長に連絡します。清掃ボランティアをしていただけたときは連絡事項などがありますので、事前に連絡をお願いします。

お問い合わせ
町民課環境衛生係 ☎ 62-1211(内線106)

軽自動車税の減免について

心身に障がいがある方で次に該当する場合は、申請によって軽自動車税が1台のみ(1人の対象者について、普通自動車を含め1台)減免されます。

- 該当要件**
- ・身体若しくは精神に障がいを有し歩行が困難な方で、本人が所有している軽自動車等。
 - ・身体に障がいを有し歩行が困難な18歳未満の方と生計を一にしている方が所有している軽自動車等。
 - ・精神に障がいを有し歩行が困難な方と生計を一にしている方が所有している軽自動車等。
 - ・身体若しくは精神に障がいを有し歩行が困難な方のみで構成する世帯の方を、常時介護する者が運転する軽自動車等。
 - ・身体に障がいを有し歩行が困難な方が利用するための構造の軽自動車等。

- 申請に必要なもの**
- ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳
 - ・軽自動車税納税通知書(5月上旬にお届けします)
 - ・運転免許証・印鑑

申請期限 5月26日(月)まで

お問い合わせ
財務課税務係 ☎ 62-1211(内線257)



3月の交通事故・消防に関するお知らせ

羽幌警察署並びに消防署から3月における各件数などのお知らせです。

暖かくなり、自転車に乗られる方も増えてくる季節です。車も自転車も互いに注意し事故を防ぎましょう。

交通事故情報

区分	当月	(1月からの累計)
発生件数	0件	(2件)
死者	0人	(0人)
負傷者	0人	(2人)

消防情報

区分	当月	(1月からの累計)
救急出動	35件	(95件)
搬送人員	33人	(92人)
火災件数	1件	(2件)
損害額	0千円	(9千円)
死者	0人	(0人)
負傷者	0人	(0人)

戸籍の窓口では「本人確認」が必要です

戸籍は、婚姻や親子の関係などが記載される大切なものです。そのような戸籍の証明書は、他人に不正に取得されないようにしなければなりません。そのため、戸籍証明書(謄本や抄本など)や住民票を取得するときは、法律で本人確認を行うよう定められました。

5月1日からは

- ・窓口にこられた方について、運転免許証や住民基本台帳カード、健康保険証などの提示により、本人確認を行います。
- ・代理人の方などについては、さらに委任状などの書面により代理権限の確認も行います。

お問い合わせ
町民課総合受付係 ☎ 62-1211(内線101)

税金や公営住宅などの各使用料の納入は簡単便利な口座振替をぜひご利用ください！

【来月の納税出張窓口】
5月27日(火) 午前9:00~正午
川北老人福祉センター ☎62-1424

役場庁舎など全面禁煙スタート

役場庁舎をはじめとする町の施設においては、健康増進法の施行以来その施設ごとに分煙を実施してきたところですが、喫煙者本人だけでなく周囲の人の健康にも影響を与える受動喫煙のより一層の防止を図るため、下記の施設では統一した取り組みとして4月1日から施設内の全面禁煙を実施しています。みなさまのご理解とご協力をお願いします。

全面禁煙となった施設

- ・役場本庁舎
- ・天売、焼尻支所
- ・中央公民館
- ・総合体育館
- ・すこやか健康センター
- ・羽幌保育園



お問い合わせ
総務課総務係 ☎ 62-1211(内線213)

羽幌郷土資料館・焼尻郷土館オープン

羽幌郷土資料館
アモンナイトを多数含んだ珍しい化石など世界的に貴重な化石や炭鉱の資料なども展示しています。

開館期間 5月1日(木)~10月30日(木)
 開館時間 午前10:00~午後4:00
 休館日 毎週月曜日(月曜が祝日の場合は火曜日)
 入館料 210円(高校生以下 無料)

焼尻郷土館 (旧小納家)
和・洋建築の珍しい建物です。北海道指定有形文化財に指定されています。

開館期間 5月1日(木)~8月31日(日)
 開館時間 午前9:00~午後4:00
 休館日 なし
 入館料 310円(高校生以下無料)



お問い合わせ
社会教育課社会教育係 ☎ 62-5880

「暮らしぶりの映し ~北の光が続く道~」

「ひらめ底建網オーナーin遠別」のお知らせ

▼萌える天北オロロンルートは、シーニックバイウェイ候補ルートに認定されています。

▼萌える天北オロロンルートは、遠別漁業協同組合青年部、株遠別町振興公社、株エフエムもえると、遠別農業高等学校、遠別町、留萌支庁を含む実行委員会を立ち上げました。

・6月21日(土) 日本海遠別沖にて漁船3隻による底建網漁を実施します
 ・募集予告は4月上旬よりホームページ上で開始します
 ・応募受付は5月からで、5月18日に抽選会を開催遠別町の山菜まつりを予定
 ・詳しくは「ひらめ底建網オーナーin遠別」実行委員会のホームページをご覧ください。4月上旬開設予定

お問い合わせ
連絡先 代表者会議事務局
 電話 0164-422-3871
 FAX 0164-422-2200
 メール tanpokuororori@netuim

萌える天北オロロンルート 16

募集



平成20年度自衛隊一般幹部候補生等募集

次のとおり平成20年度の自衛隊一般幹部候補生を募集します。受験資格など詳細はお問い合わせください。

受験資格

【一般幹部候補生・海上技術幹部候補生】

- ・20歳以上26歳未満(22歳未満は大学卒)
- ・大学院修士取得(見込み含む)は28歳未満

【歯科幹部候補生】

- ・20歳以上30歳未満で専門の大学を卒業(見込み含む)

【薬剤科幹部候補生】

- ・20歳以上26歳未満で専門の大学を卒業(見込み含む)
- ・薬学修士学位取得者は28歳未満

応募締切 5月12日(月)まで

1次試験 5月17日(土) 一部18日

試験種目 筆記試験(一般教養・専門)

お問い合わせ

自衛隊留萌地域事務所 ☎ 0164-42-4650

教育委員会臨時職員の募集

次のとおり学校プール管理人を募集します。希望される方はご応募ください。

勤務場所 羽幌中学校

勤務内容 学校プールの管理(ろ過装置の点検、水質の確認、室内及び周辺の清掃等)

募集人員 1名

資格要件 年齢65歳以下の方(平成20年4月1日現在)

勤務時間 午前8時～午後3時(休憩1時間含む)

雇用期間 平成20年6月14日～平成20年9月15日

週6日勤務、毎週月曜日休み

賃金 日額 5,200円

保険等 社会保険等の加入あり

応募方法 市販の履歴書(顔写真貼付)に必要事項を記入のうえ、平成20年5月9日(必着)までに学校管理課に持参するか郵送してください。

選考方法 履歴書による書類審査、面接
日程は後日通知します

お問い合わせ

学校管理課総務係 ☎ 62-1211(内線412)

お風呂の無い家庭は入浴が割引されます

羽幌町ではお風呂の無いご家庭に、いきいき交流センターの入浴割引券をお渡ししています。

対象者 羽幌町に住所があり、お住まいにお風呂の無い方(間借り・アパート・借家を含みます)

必要なもの

- ・健康保険証などの身分を証明できるもの
- ・印鑑

申込先 役場1階 総合窓口

有効期間 平成20年4月1日～平成21年3月31日まで

入浴料金割引額

- ・大人(中学生以上) 160円(利用者負担額 390円)
- ・小人(小学生以下) 210円(利用者負担額 70円)
- 乳幼児(3歳以下)は無料です。

注意点

- ・お風呂が故障して使えない場合は対象となりません。
- ・割引券は本人以外使用できません。
- ・確認のため、職員がお住まいに伺う場合があります。
- ・4月を過ぎて申込みをされた場合は、過ぎた月分の枚数を差し引いてのお渡しとなります。

お問い合わせ

町民課町民生活係 ☎ 62-1211(内線112)

春の全道火災予防運動「4月20日～30日」

火災が発生しやすい気候となる時季を迎えるにあたって、火災予防思想の普及を図り、死傷事故や財産の損失を防ぐことを目的とし、特に地域が一体となった組織的な取組みにより住宅用火災警報機の普及促進を図り、高齢者などを中心とする死者の発生を予防するため、周知・啓発を図ります。

住宅用火災警報器の設置について

既存の住宅については、平成21年5月31日までに設置が必要です。設置場所は寝室や台所、2階に寝室がある場合は階段上部の天井にも必要です。設置に関してわからないことがあれば、お気軽にお問い合わせください。

統一標語

「火は見てる あなたが離れる その時を」



火事・救急・救助は119番まで！

お問い合わせ

北留萌消防組合消防署 ☎ 62-1246

ごみの不法投棄は犯罪です

最近、羽幌高等学校前のバス停(待合室)に一般家庭のものと思われるごみが捨てられており、生徒たちがボランティアでごみの撤去をしています。

町民一人ひとりがモラルを守り「不法投棄はしない、させない、許さない」という気持ちで、日頃から注意しましょう。地域の目が不法投棄をなくします。

お問い合わせ

社会教育課社会教育係 ☎ 62-5880

農業者年金に加入しませんか

老後生活への備えは十分ですか。農業に従事する方ならどなたでも加入できる、農業者年金に加入しませんか。少子高齢化時代に強い積立方式の年金です。

保険料の額は自由に決められます

自分で掛ける保険料を決められます。経営の状況をみて、いつでも見直せます。

終身年金で80歳までの保証

年金は生涯支給され、仮に80歳前に亡くなくても、受取れるはずだった現在価値に相当する額が、死亡一時金で支給されます。

税制上の優遇措置があります

支払った保険料は、全額社会保険料控除対象となります。所得税・住民税の節税につながります。

申込・お問い合わせ

JAオロロン管理部 ☎ 62-2141
農業委員会 ☎ 62-1211(内線332)

クマの出没に注意を！

今年も融雪とともにヒグマの出没情報が寄せられる時期となりました。森林所有者やレジャーなどにより入林する機会が増えると思いますが、ヒグマによる事故防止のため、次の点にご注意願います。

- 単独での入山はできるだけやめましょう。
- 足跡や糞を見たときは、すぐに引き返しましょう。
- 鈴やラジオなどで音を鳴らしましょう。
- 事前にクマの出没情報を得るとともに、注意看板のある所には入らないようにしましょう。



お問い合わせ

農林水産課林畜畜産係 ☎ 62-1211(内線 353)

第1期狂犬病予防注射

犬を連れてくるときは、首輪・口輪等をしっかりとつけて犬に慣れた方が連れてきてください。飼い主が押さえることができない犬は予防注射を受けられない場合があります。

なお、当日は大変混みますので犬の登録をされている方は、役場から送付された「はがき」を持参してください。犬の登録をしていない方は、メモ用紙に「飼主住所・氏名・電話番号・犬の種類・毛色・性別・生年月日・犬名・犬の特徴」を書いて持参してください。

注射料金 3,040円(毎年1回)

訪問料 600円(戸別訪問希望者のみ)

登録料 3,000円(犬の生涯に1回)

5月13日(火)

午前10:00～10:20 築別郵便局

午前10:30～11:00 旧築別中学校

午前11:20～11:40 曙生活館

午後1:30～2:00 朝日集会所

午後2:10～3:00 中央集会所

5月14日(水)

午前10:00～10:50 川北老人福祉センター

午前10:55～11:35 若葉団地(公営住宅)

午後1:00～1:40 北町集会所

午後1:45～2:25 羽幌町上水道浄水場

午後2:30～3:00 福寿川・相合橋(南4条通側)

5月15日(木)

午前10:00～10:20 栄町南団地集会所

午前10:25～11:00 栄町コミュニティセンター

午前11:05～11:50 南町集会所

午後1:00～1:50 幸町南集会所

午後2:00～3:00 旧漁協会館

5月16日(金)

午前10:00～11:00 羽幌町役場

午前11:05～11:50 消防署

午後1:00～ 戸別訪問 ※事前申込が必要

犬の転居、譲渡、死亡などの場合には、鑑札及び印鑑を持参して、手続きをしてください。

お問い合わせ

町民課環境衛生係 ☎ 62-1211(内線 105・106)

5月の保健カレンダー

あいあいサークルを除き、対象となる方にはお手紙で通知しています。あいあいサークルの参加を希望される方は、事前にお電話でお申し込みください。

日程	事業	受付・実施時間	会場
7日(水)	あいあいサークル	午前9:45～	健康センター
10日(土)	乳がん・子宮がん検診	午前9:00～	健康センター
11日(日)	乳がん検診	午前9:00～	健康センター
12日(月)	母くらぶ	午前9:30～	健康センター
14日(水)	4カ月・9カ月児健診	午後1:00～	健康センター
15日(木)	小母くらぶ	午前9:30～	健康センター
21日(水)	あいあいサークル	午前9:45～	健康センター
21日(水)	1歳6カ月児健診	午後12:30～	健康センター
26日(月)	小母くらぶ	午前9:30～	健康センター
28日(水)	ポリオ予防接種	午後2:00～	健康センター
29日(木)	母くらぶ	午前9:30～	健康センター

申込・お問い合わせ 福祉課保健係
すこやか健康センター内 ☎ 62-6020

温泉活用健康増進事業

テーマ「高齢者の交通安全」

外出する機会の少ない高齢者のための健康教室です。今回は羽幌警察署による講話を行います。健康相談も併せて行いますので気軽にご参加ください。

日時 5月27日(火) 午後1:30から
会場 はぼろ温泉サンセットプラザ
参加料 入浴料 550円(回数券・割引券使用可)
対象者 65歳以上で温泉入浴に支障の無い方
申込期限 5月20日(火)まで

申込・お問い合わせ 福祉課保健係
すこやか健康センター内 ☎ 62-6020

5月の救急当番医

道立羽幌病院については土・日曜日及び祝祭日を含め、救急診療を行っています。

18日(日) 苫前クリニック
(苫前町字苫前)
☎ 64-9070



妊娠・出産に関する制度が変わります

妊婦さんが安心して妊娠期を過ごし、出産を迎えることができるよう、4月から妊婦健診の公費負担回数を増やします。また、離島にお住まいの妊婦さんは受診のための移動経費も大きな負担になることから、妊婦健診に要する交通費などの助成も行います。

妊婦健診の公費負担(受診券の交付)回数

区分	受診券の交付	公費負担額
妊婦一般健康診査	前期(B型肝炎検査有)	6,880円
	後期	6,590円
超音波検査	出産予定日に35歳以上の方へ1回	5,300円

4月からは

区分	受診券の交付	公費負担額
妊婦一般健康診査	1回目(妊娠8週前後)	9,950円
	2回目(妊娠20週前後)	990円
	3回目(妊娠24週前後)	2,690円
	4回目(妊娠30週前後)	4,350円
	5回目(妊娠36週前後)	2,690円
超音波検査	全妊婦へ上記と同様の5回	5,300円×5回

【受診券交付方法】

- ・4月以降に母子手帳の交付を受ける方は、一緒に受診券も交付します。
- ・既に母子手帳を交付している方には、電話などで個別に連絡します。
- ・19年度中に転入された妊婦さんは、追加交付をしますので、すこやか健康センターまで連絡下さい。
- ・今までの受診券は利用できませんのでご注意ください。

交通費などの助成(離島地区)

天売・焼尻在住の妊婦さんへは、妊婦健診及び出産のために島外の医療機関を受診する際の乗船料や宿泊費を助成します。対象者へは個別に連絡します。

母子手帳の交付は健康センターに変わります

妊娠・出産・育児に関し、保健師・栄養士が一連のサポートをできるよう、「妊娠の届出」「母子手帳交付」「妊婦健診受診券交付」は役場総合窓口からすこやか健康センターに変わります。ただし、「出生届」はいままで通り役場総合窓口です。



申込・お問い合わせ 福祉課保健係
すこやか健康センター内 ☎ 62-6020

心配ごと相談

羽幌町社会福祉協議会では、住民のみなさんの心配ごとへの対応として、心配ごと相談所を毎月1回開催しています。どうぞお気軽にご利用ください。

日時 5月21日(水) 午後1:30～午後4:00
会場 勤労青少年ホーム

お問い合わせ
羽幌町社会福祉協議会 ☎ 69-2311

健康相談

保健師と栄養士による健康相談です。町内在住の方なら誰でも利用できます。毎回軽い運動と体重・体脂肪測定、血圧測定、健康の話をしています。

期日 5月29日(木)
会場 川北老人福祉センター(午前10:00～午前11:30)
すこやか健康センター(午後1:00～午後3:00)

お問い合わせ 福祉課保健係
すこやか健康センター内 ☎ 62-6020

健康



麻しん風しん予防接種が変わります

予防接種制度の改正により、平成20年度から麻しん風しん予防接種の対象に「中学1年生」と「高校3年生に相当する年齢の方」が加わりました。

対象範囲

- 第1期 1歳以上～2歳未満
- 第2期 5歳以上～小学校就学前年度
- 第3期 平成7年4月2日～翌年4月1日生まれの方(中学1年生)
- 第4期 平成2年4月2日～翌年4月1日生まれの方(高校3年生に相当する年齢)

接種方法

事前にすこやか健康センターへ申込みし、医療機関で個別接種となります。接種日などの詳細は、対象者に直接お知らせします。

申込・お問い合わせ 福祉課保健係
すこやか健康センター内 ☎ 62-6020

イベント・行事



しかけ絵本を展示します

子ども読書週間にあわせて「しかけ絵本展」を開催します。北海道立図書館のしかけ絵本を約60冊展示します。みなさんどうぞ図書室に足を運んでください。

期間 4月24日(木)～5月14日(水) 27日(日)は休館日
場所 中央公民館図書室

お問い合わせ
中央公民館図書室 ☎ 62-1178

相談



年金相談

年金の加入状況の確認、納付書や年金手帳の再発行など年金に係る相談を受け付けています。

日時 5月8日(木) 午前10:00～午後4:00
会場 役場4階 大会議室
予約 事前予約がおすすめです。予約方法は直接社会保険事務所に電話するか、役場窓口にある予約票で申し込んでください。

お問い合わせ
留萌社会保険事務所 ☎ 0164-43-7211

行政相談

行政についてわからないことなどがあれば、お気軽にご相談ください。相談内容の秘密は厳守されます。

日時 5月13日(火) 午前9:00～正午
会場 老人福祉センター
行政相談委員 弓庭 登 氏
相談内容の例

- ・苦情がある、困っていることがある
- ・苦情を申し出たが、説明や措置に納得がいけない
- ・手続き、サービスなどで制度や仕組みがわからない

お問い合わせ
町民課総合受付係 ☎ 62-1211(内線101)

人のうごき

平成20年3月届出分を掲載(希望者のみ)

おたんじょう

高橋 雫ちゃん	(優樹・亜紀)	南大通 1
杉澤 ひまり 妃莉ちゃん	(伸二・幸江)	南 5 の 5
熊谷 しょうた 翔太くん	(裕治・寿代)	幸町
和田 ふうが 楓雅くん	(郁也・舞)	中央

ごけっこん

森 卓矢さん	西村 由香さん	南 3 の 5
敦賀 哲也さん	根井 那々子さん	幸町

おくやみ

田中 キヨさん	86歳	南 3 の 1
千代谷 ツマさん	91歳	浜町 2
高本 ハマさん	82歳	北 4 の 1
鈴木 一郎さん	69歳	北町
出町 真人さん	26歳	北町
安齋 マサさん	92歳	栄町
大屋 スズエさん	94歳	栄町
田宮 友作さん	86歳	栄町
山本 アサヲさん	96歳	栄町
村 アサ子さん	82歳	栄町
上田 久雄さん	86歳	朝日
八谷 フミさん	86歳	天売

人口と世帯数(3月末)

人口	8,517 人	(- 73)
男	4,036 人	(- 30)
女	4,481 人	(- 43)
世帯数	3,945 世帯	(- 22)

() は前月比



今月の表紙 | さくらんぼ(写真:広報担当)

平成20年度がスタートしました。今年度は「北海道洞爺湖サミット」が開催される年ですが、テーマとなる地球環境という言葉で真っ先に連想するのは「地球温暖化」という方も多いのではないのでしょうか。あまりにも規模が大きく、漠然とした事柄のようでありながら、じつは極々身近で私たちの生活に密着していることだと思えます。地球温暖化といえば二酸化炭素などの温室効果ガスの増加が主な要因といわれていますが、ふだんの暮らしの中でもこまめに電気を消したり、車を控えてみたりと、ちよつとした心掛けて二酸化炭素の排出を抑え、地球温暖化の防止につながるのではないのでしょうか。と、いうことで今月から広報の表紙も、環境をテーマに作ってみました。と思います。(一)

編集後記

この春の人事異動で3年間携わった「広報はぼろ」と、通算で8年目となったホームページの担当を離れることになりました。振り返ってみると短い間でしたが、情報の充実や誌面のリニューアル、ホームページとの連携強化などに取り組み、これから「広報はぼろ」が発展するための土台づくりに微力ながら貢献できたのではないかと思います。(一)

4月は新しい生活がスタートする季節ですね。身のまわりの整理も少しは落ち着いたでしょうか。前任者にかわり広報を担当することになりました。これまでとはまったく違う環境ですが、少しずつ慣れていきたいと思えますので、暖かい目で見守ってください。よろしくお願ひします。(一)

